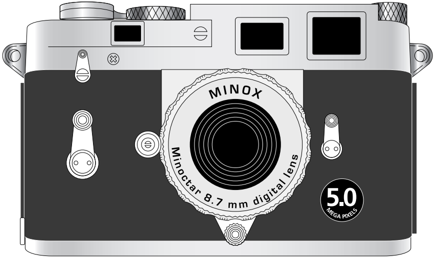


DCC 5.0
Digital Classic Camera 5.0

取扱説明書

目 次

安全で快適にお使いいただくために

※本製品をお使いになる前に、必ずこの説明書の内容と以下のご注意を良くお読みいただき、正しくお使いください。

安全で快適にご使用いただくために以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使い下さい。以下の事項が守られずにカメラに故障が生じた場合、保証は適用されません。また、これらの注意事項は、使用者やその周りの人々に危害や損害が起こるのを未然に防ぐためのものです。

※本製品は精密機器です。重い物を上に乗せたり、落としたり、乱暴に扱わないでください。特に液晶部を強く押したり、傷付けないようにご注意ください。

※カメラ（電池）損傷した場合は使用しないでください。

※電池を廃棄する際は、（＋）と（－）の端子にテープなどを貼り絶縁して、自治体の指定する方法で安全に廃棄して下さい。

※カメラに電池を入れる際、（＋）と（－）の接点を正しく入れてください。電池の破裂・液漏れにより火災・怪我の原因となります。

※電池を火に近付けたり、ショート、分解、加熱、この取扱説明書に記載の方法以外で充電しないで下さい。爆発して大怪我の危険があります。

※電池を長時間使用しない場合、機器から取り外して湿気の少ない温度の低い所で保管して下さい。

※カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が起きた場合、直ちに火傷しないように注意して電池を取り出し、弊社サービス部までご連絡ください。

※この取扱説明書中で指定されていない電池は、使用しないで下さい。電池の破裂、液漏れにより、火災、怪我の原因となります。

※監視の目が届かない状況でカメラを放置したり、コンピュータに接続したままにしたりしないでください。

※取り外した電池は、お子様の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合、胃、腸等が損傷する恐れがありますので、直ちに医師と相談してください。

※カメラをストラップで下げているときは、他のものを引っ掛けたりしないようにご注意ください。怪我または破損等の原因となることがあります。

※自分でカメラを分解しないでください。カメラ内部には高電圧回路があり、感電の危険性があります。

※予告無しに人に向けてフラッシュを使用しないでください。事故や目を傷める危険性があります。

※歩行中や自動車等の運転中は絶対にカメラを操作しないでください。交通事故の原因となります。

※カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて速やかに弊社サービス部までご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

※雨や雪など液体に濡らしたり、砂などの異物が内部に入ることがないよう注意してください。

※カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると窒息する危険があります。

●カメラの保管に関して

※カメラは湿気や埃のない場所で保管してください。煙や水蒸気に曝される場所や車の中、熱いものの側に放置しないでください。

※直射日光があたる場所や極端に高温または低温の場所にカメラを保管することは避けてください。

※化学薬品やビニールまたはゴム製品の材料に接触する場所にカメラを放置することは避けてください。

※強い磁気に曝されることのないようにしてください。

※清掃する場合にはバッテリーを抜き、コンピュータとの接続を切ってください。

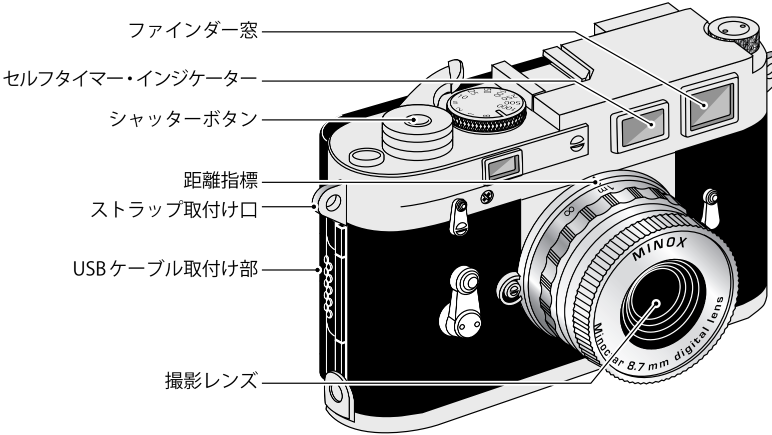
※低温の場所から暖かい場所に移した場合、湿気の凝縮でレンズが曇ることがあります。

※レンズや液晶の表面の埃を除く場合には、市販のブロアーブラシで埃を飛ばし、柔らかい布で拭いてください。埃が残っている場合には布に少量のレンズクリーナーを付けてから軽く拭いてください。

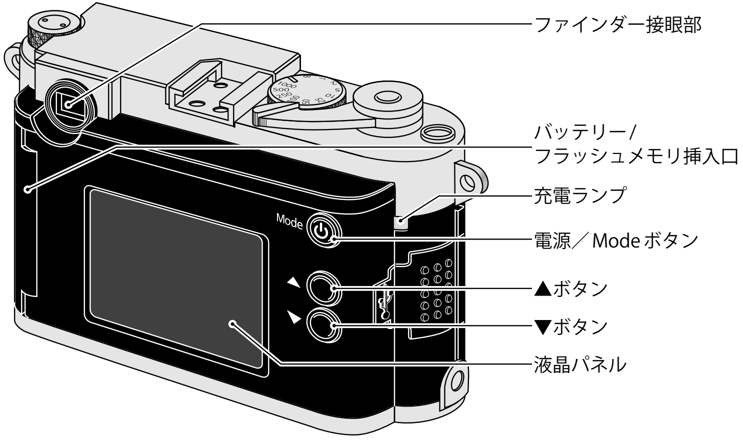
※カメラ本体は柔らかい布で拭き、有機溶剤を含むクリーナーやその他クリーニング剤（レンズクリーナー等）で本体を拭くことは絶対に避けてください。

※硬い物がレンズや液晶画面、ファインダーと接触しないよう注意してください。

仕　様

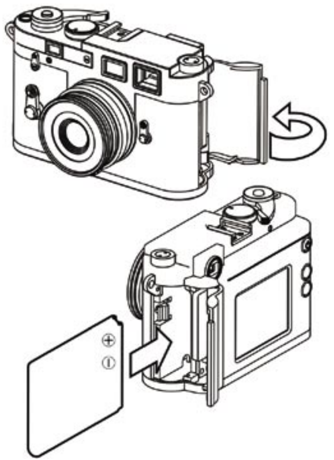


ファインダー窓
セルフタイマー・インジケーター
シャッターボタン
距離指標
ストラップ取付け口
USBケーブル取付け部
撮影レンズ
MINOX
Minoctar 8.7 mm digital lens



ファインダー接眼部
バッテリー/
フラッシュメモリ挿入口
充電ランプ
電源／Modeボタン
▲ボタン
▼ボタン
液晶パネル
Mode

1.バッテリーを入れる

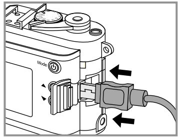


このカメラはリチウムイオンの充電可能なバッテリーを使用しています。バッテリーは初期充電が完了するまでは使用できません。初めて使用される場合は「2.バッテリーを充電する」の項目に記載された方法で充電してください。

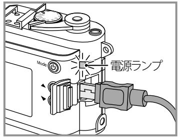
※指定以外の方法で充電された結果、カメラまたはバッテリーに損傷が発生した場合は保証対象になりません。

カメラのバッテリー収容部を開いてバッテリーを入れ、バッテリーがしっかりと保持されたことを確認し、カバーを閉じてください。バッテリー着脱時に画像が影響を受けることはありません。

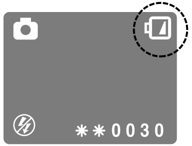
2.バッテリーを充電する



<図1>



<図2>



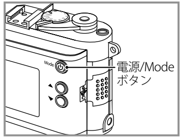
<図3>

コンピュータ経由で充電する：
カメラの電源を切ってから、USBケーブル（付属品）を使用してカメラをコンピュータのUSBポートと接続すると、自動的に充電が始まります。<図1>
ACから直接充電する：
カメラの電源を切ってから、USBケーブル（付属品）をカメラに繋ぎ、ACアダプタ（付属品）を装着してコンセントに差し込み充電します。

【ご注意】
※充電中にカメラの操作はできません。

充電ランプ：
充電中は充電ランプ（グリーン）が点灯します。<図2>
このランプが消えれば充電は完了です。
※画面に▢マークが表示されたらバッテリー残容量が少なくなっています。速やかに充電してください。<図3>
※カメラにUSBケーブルを取付ける際は、「カチッ」と音がするまでしっかり差込んでください。（取付けが不完全な場合でも、接点が触れることで充電ランプが点灯しますが、充電はされません）

3.カメラのスイッチを入れる



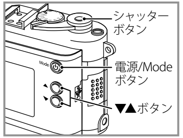
<図4>



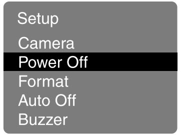
<図5>

電源/Modeボタン ⏻ <図4>をしっかりと押すと電源が入り、撮影モード 📷 になります。

4.カメラのスイッチ切る



<図6>

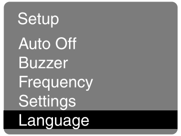


<図7>

電源を切るには、撮影モード 📷 の状態から再度Modeボタン ⏻ を2回押して「Setup（設定）」画面を表示してください。

その上で、▼ボタンを押して「Power Off（パワーオフ）」を選択<図7>、シャッターボタンを押すと電源が切れます。

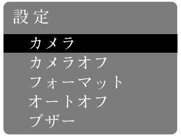
5.画面日本語表示の選択



<図8>



<図9>

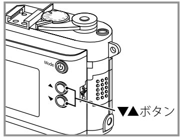


<図10>

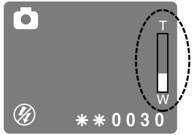
撮影モード 📷 からModeボタン ⏻ を2回押して「Setup（設定）」画面にします。

▼ボタンを押して「Language（言語）」を選択しシャッターボタンを押します。
<図8>
「Language」画面が表示されたら、▼ボタンを押して「Japanese」を選択し、シャッターボタンを押して決定します。
<図9>

ディスプレイは日本語に切り替わります。
<図10>



<図11>

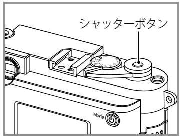


<図12>

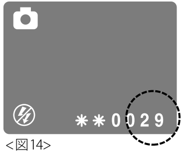
構図を決める

撮影モード（P10参照）の状態からカメラ背面のディスプレイで被写体を確かめ、ズーム機能で構図を決めてください。
ズームは▼▲ボタンを使います。<図11>
▲でズームインし、▼でズームアウトし、ディスプレイにズーム状況が表示されます。<図12>

※撮影モード マークが見えない場合は表示されるまでModeボタン を何回か押してください。



<図13>

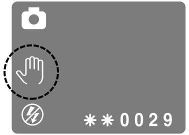


<図14>

撮影する

シャッターボタン<図13>を押して撮影します。しっかりと構えてボタンを押し、「ピッ」と音がすれば撮影が完了したことを示します。ディスプレイ右下の撮影残数カウンタが1つ減ります。<図14>

※シャッター音は非常に小さいものですが、完全に消音したい場合には、"ブザー"をOFFに設定してください。P30「ブザー解除（BuzzerOff）」参照
※充電中は撮影はできません。



<図15>

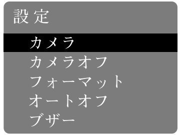
手ぶれ警告

撮影中に、ディスプレイ左に手のひらのマークが表示される場合があります。
<図15>
この状態のまま手持ちで撮影すると、手ぶれを起こす可能性があります。
これは十分な光量が得られない環境などでシャッタースピードが遅くなり、手ぶれの原因となります。
三脚に取り付けるなど、カメラを固定して撮影することをお薦めします。

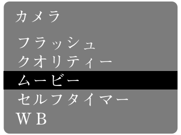
フラッシュの使用

カメラにはフラッシュが搭載されていません。（夕暮れ時や暗い場所など）光量の乏しい条件下で撮影するには、MINOX取扱店でオプションでお求めになれるMINOX DCC用 ストロボ（型番60311）が必要です。
オプションのフラッシュの接続方法はP28-29「ミノックス・クラシックカメラフラッシュの使用」をご参照ください。

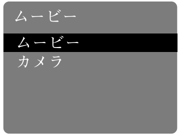
7.動画を撮る



<図16>



<図17>



<図18>



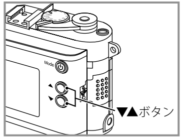
<図19>

動画モードを選択する

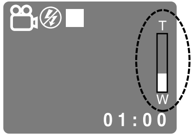
撮影モード からModeボタン を2回押して「設定（Setup）」画面にします。

▼ボタンで「カメラ設定（Camera）」を選択し、シャッターボタンを押します。<図16>
さらに▼ボタンを押して「動画（Movie）」を選び、シャッターボタンを押して「動画（Movie）」画面を表示させます。<図17>

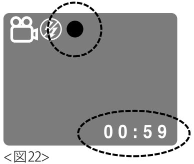
「動画（Movie）」を選択し、シャッターボタンを押します。<図18>
画面は「設定（Setup）」メニューに戻ります。Modeボタン を再度押すと、録画モードになり、 マークがディスプレイ左上に表示されます。<図19>



<図20>



<図21>



<図22>

構図を決める

カメラ背面のディスプレイで構図を決めます。
ズームは▼▲ボタンを使います。<図20>
▲でズームイン、▼でズームアウトし、ディスプレイにズーム状況が表示されます。<図21>
ズーム機能は撮影中でも使用する事ができます。

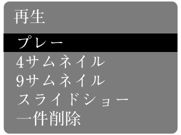
動画を撮影する

シャッターボタンを押すと録画が開始します。シャッターボタンを再度押すと録画が終了します。録画中は赤のドット●が画面に点灯します。
画面右下のカウンターは連続して録画可能な残り時間（分：秒）です。<図22>

8.画像を見る



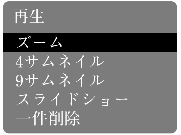
<図23>



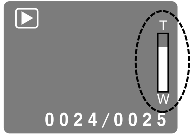
<図24>

画面上での静止画または動画の再生

撮影（または録画）モードからModeボタン ⏻ を1回押して再生モード ▶ にします。<図23>
保存されている画像を選択するには▼▲ボタンを使ってください。
ムービーの場合、シャッターボタンを押して「再生（Playback）」画面にし、「プレー（Play）」を選んでシャッターボタンを押します。途中で止めたい場合はシャッターボタンを再度押してください。<図24>



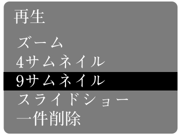
<図25>



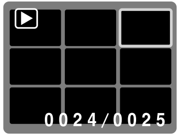
<図26>

画像の細部を確認する

ズーム機能を使うと、撮影した画像の細部を確認することができます。
再生モード ▶ からシャッターボタンを押して「ズーム（Zoom）」を選びさらにシャッターボタンを押します。<図25>
▼▲ボタンを使用ししてズームすると、ディスプレイにズーム状況が表示されます。<図26>
シャッターボタンを二度押しするとズームモードが解除されます。



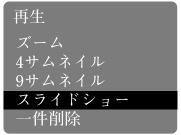
<図27>



<図28>

多くの画像を一時に見る

再生モード ▶ からシャッターボタンを押して「再生（Playback）」画面にします。（図27）
「4サムネイル（4 Thumbnail）」か「9サムネイル（9 Thumbnail）」を選択し、シャッターボタンを押すと、画面に4つまたは9つの画像がサムネイル（縮小一覧）の形で表示されます。<図28>
▼▲ボタンで画像を選び、シャッターボタンを押すと画像が拡大表示されます。

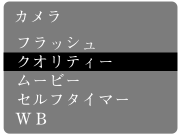


<図29>

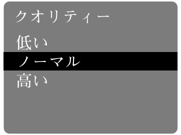
スライドショー形式で見る

撮影した画像を自動的に表示するようにカメラを設定することができます。
再生モード ▶ からシャッターボタンを押して「再生（Playback）」画面にします。
「スライドショー（Slide Show）」を選択し、シャッターボタンを押してください。<図29>
スライドショーがスタートします。
シャッターボタンを再び押すとスライドショーが終了します。

9. 更に多くの画像を保存する



<図30>



<図31>



<図32>

画像のサイズを変更する

画質とメモリー容量の観点からバランスが取れるよう、カメラは出荷時にはノーマルに設定されていますが、必要に応じて画質設定を変更することができます。

設定を変更するには、撮影モード 📷 からModeボタン ⏻ を2回押して「設定（Setup）」画面にします。
▼▲ボタンで「カメラ設定（Camera）」を選択し、シャッターボタンを押します。

「画質（Quality）」を選び、シャッターボタンを押して、「画質（Quality）」画面にします。
<図30>
▼▲ボタンで「低（Low）」、「ノーマル（Normal）」、「高（High）」の3段階の画質設定から設定を選ぶことができます。
<図31>
画面下に＊マーク（Low：＊／Normal：＊＊／High：＊＊＊）が表示されます。
<図32>

3段階の概要は右記の通りです。

- ●Low（＊）：2048 x 1536 pixel
  （高圧縮モード）
  ［内蔵メモリ使用時］50画像まで
- ●Normal（＊＊）2048 x 1536 pixel
  （低圧縮モード）
  ［内蔵メモリ使用時］30画像まで
- ●High（＊＊＊）2560 x 1920 pixel
  （画像補間）
  ［内蔵メモリ使用時］20画像まで

シャッターボタンを再度押して選択します。

※Low/Normalのピクセル数は同じですが、画像の圧縮率の違いにより、画像品質とメモリーへの保存枚数は異なります。

SDカードでメモリー容量を拡大する

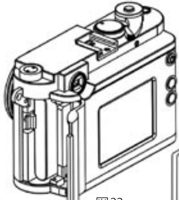
SD（セキュアーデジタル）カードでメモリー容量を拡大し、更に多くの静止画や動画の撮影を可能にすることができます。SDカードはカメラ店や電気製品販売店でお求めになれます。
本機は4 GBまでのSDHCカードと2GBまでのSDカードを使用することができます。

重要事項：

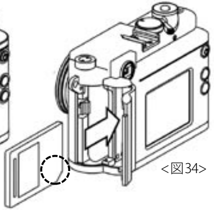
※SDカード挿入時は、内蔵メモリは使用、再生、フォーマットはできません。（保存先や再生データを選択することはできません）

内蔵メモリを使用する際は、SDカードを取出してご使用ください。

9.更に多くの画像を保存する



<図33>



<図34>



<図35>



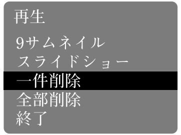
<図36>

SD カードを入れる

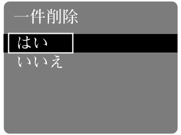
図に示した方向にバッテリー収容部のカバーを押すとカバーが開き、SDカードを入れるスロットが見えます。<図20>
SDカードを正しい方向（接触点がレンズ側、切り欠き部が下）であることを確認してからカードを入れてください。
SDカードが挿入されると、ディスプレイ右上にSDカードマークが表示されます。<図35>

重要事項：
SDカードがロック（保護）されている場合にはカードロックアイコンが画面に表示され、この場合には静止画や動画を撮影することができません。<図36>

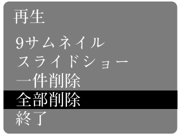
10.不要な画像を削除する



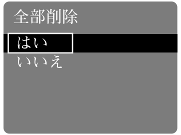
<図37>



<図38>



<図39>



<図40>

画像を 1 つずつ削除する

再生モード▶の状態から▼▲ボタンで削除したい画像を選びます。
シャッターボタンで「再生（Playback）」画面を表示させ、▼▲ボタンで「選択画像削除（Delete One）」を選び、シャッターボタンを押します。<図37>
▼▲ボタンで「はい（Yes）」を選択し、シャッターボタンを押すと、選択した画像はカメラのメモリーから消去されます。<図38>

全画像を消去する

再生モード▶の状態からシャッターボタンを押して「再生（Playback）」画面を選び、▼▲ボタンで「全画像削除（Delete All）」を選び、シャッターボタンを押します。<図39>

▼▲ボタンで「はい（Yes）」を選択し、シャッターボタンを押すと、メモリーに収容されている全画像が消去されます。<図40>

11.画像をコンピュータにダウンロードする

【注意】
Windows 2000/XPもしくはMac OS9やOSXの場合にはカメラドライバをインストールする必要はありません。お求めのカメラはWindows 2000/XPまたはMac OS9やOSXより古いバージョンのOSには対応しておりません。

カメラをコンピュータに接続する

カメラをコンピュータに接続するときは、**カメラの電源を入れて**おきます。

その上で付属のUSBケーブルを使ってコンピュータに接続します。(小さいコネクターをカメラ側に、大きいコネクターをコンピュータ側に接続します)
初めてカメラをコンピュータに接続すると、コンピュータがカメラを新しいハードウエアとして認識し、ドライバーを自動的にインストールします。
コンピュータからインストール完了の通知を確認した後にカメラまたはSDカードに収容されている画像にアクセスしてください。

【注意】
※電源を切った状態でカメラをコンピュータに接続すると、USBケーブルを経由してコンピュータから電源が供給されてカメラのバッテリー電力を補います。
※USBケーブル装着時はコネクタ部を「カチッ」と音がするまで、しっかり差込んでください。

Windowsに画像をダウンロードする

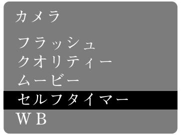
コンピュータの「マイコンピュータ」を開くと、「リムーバブルディスク」のアイコンが表示されます。
アイコンをダブルクリックし、最初に「DCIM」のフォルダを、次に「100_CAM」を選択すると、全画像がコンピュータに保存されます。

Machintoshに画像をダウンロードする

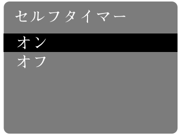
カメラをコンピュータ接続してスイッチを入れると「名称未設定(untitled)」という表示の新しいアイコンが現れます。このファイルの中に「DCIM」と呼ばれるフォルダがあり、その中に「100_CAM」のフォルダがあって画像はそこに収容されています。
「名称未設定」という名前は自由に変えることができます。

※他の情報を保存したり転送したりするためにカメラを使用することもできます。上記の通りフォルダを開き、保存または転送したいファイルをコピーすれば、カメラのメモリに保存されます。

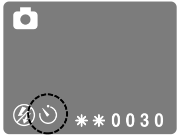
12.セルフタイマーを使用する



<図41>



<図42>



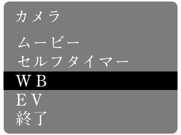
<図43>

セルフタイマーを使うとご自分を撮影することも可能です。
セルフタイマーは10秒後にシャッターが切れるようになっています。

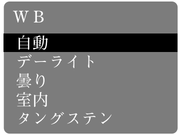
Modeボタンで「設定(setup)」画面を選びます。▼▲ボタンで「カメラ設定(camera)」を選び、シャッターボタンを押すとカメラ設定画面になります。
▼▲ボタンで「セルフタイマー(Self Timer)」を選び、もう一度シャッターボタンを押し決定します。<図41>

セルフタイマー画面が現れ、▼▲ボタンでセルフタイマー機能のオン/オフ(On/Off)が選択できます。<図42>シャッターボタンを押して決定してください。
On(オン)にするとカメラはタイマーモードになり、画面にが表示されます。<図43>
通常通り構図をきめましょう。
構図が決まったらシャッターボタンを押すと、カメラは自動的に10秒後にシャッターを切ります。タイマー作動中には音でカウントダウンを示し、ファインダー横の窓が赤く点滅します。

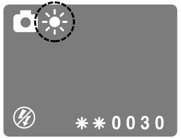
13.ホワイトバランス(WB)の調整



<図44>



<図45>



<図46>

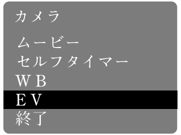
ホワイトバランスを調整すると、極めて明るい、または暗い条件下でも自然な写真を撮ることができます。
撮影モードからModeボタンを2回押して「設定(Setup)」画面にします。
▼▲ボタンで「カメラ設定(Camera)」を選択し、シャッターボタンを押して「カメラ設定(Camera)」画面にします。
▼▲ボタンで「WB」を選び、シャッターボタンで決定します。<図44>
「WB」画面が現れますので、▼▲ボタンを使って以下の6種類の中から選択することができます。<図45>

【表示無し】	自動(Auto)
	デイライト(Daylight)
	曇り(Cloudy)
	室内(Lamp)
	タングステン(Tungsten)
	夜(Night)

上記より選択したら、再度シャッターボタンを押して決定します。
撮影モードにすると選択したWBマークが画面左上に表示されます。<図46>

14. 露出値（EV）調整

EV値を調整するとコントラストを良好に補正することができます。
カメラはファインダーの中の像に露出値を自動的に合致させるようになってはいますが、マニュアルで調整することが望ましい場合もあります。暗い被写体が全体画像の大きな部分を占める場合にはEV値をゼロから減らし、明るい被写体が大きな部分を占める場合にはEV値を上げます。



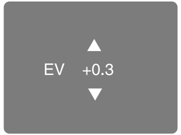
<図47>



<図48>

撮影モード からModeボタン を2回押して「設定（Setup）」画面にします。
▼▲ボタンで「カメラ設定（Camera）」を選択し、シャッターボタンを押して「カメラ設定（Camera）」画面にします。

▼▲ボタンで「EV」を選び、シャッターボタンで決定します。＜図47＞
「EV」設定画面になりますので▲▼ボタンで必要な調整EV値を選んでください。
＜図48＞



<図49>



<図50>

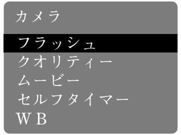
調整値は±0.3EV刻みで変化し、±1.8まで設定することができます。
＜図49＞
選んだら、再度シャッターボタンを押して決定します。
ディスプレイを撮影モードにすると、撮影モードマークの下に設定したEV値が表示されます。
＜図50＞

15. 距離設定

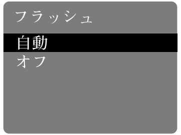
カメラに搭載されているレンズは被写界深度を選択できるようになっています。レンズの小さなレバーで希望の被写界深度を選んでください。

∞（無限遠）： 1.5mから無限遠まで
1m： 0.7mから1.5mまで
0.5m： 0.5mから0.7mまで

16.フラッシュ（オプション）の使用



<図51>



<図52>



<図53>

カメラにはフラッシュが搭載されていません。夕暮れ時や、暗い場所での撮影には、別売オプションのMINOX DCC用ストロボ（型番60311希望小売価格12,000/税別）が必要になります。

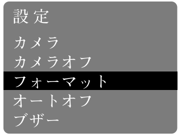
電源を切った状態でカメラにしっかりと取り付けます。しっかりと取り付けられていることを確認してからフラッシュの電源を入れてください。
※フラッシュには必ず適切なバッテリーを使用してください。

カメラの電源を入れます。
撮影モード からModeボタン を2回押して「設定（Setup）」画面にします。
▼▲ボタンで「カメラ設定（Camera）」を選択し、シャッターボタンを押して「カメラ設定（Camera）」画面にします。
▼▲ボタンで「フラッシュ（Flash）」を選び、シャッターボタンで決定します。
<図51>
「フラッシュ（Flash）」メニューが現れますので、▲▼ボタンで「オート（Auto）」または「オフ（Off）」を選択できます。<図52>

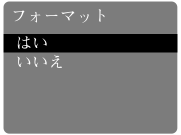
「オート（Auto）」を選んでシャッターボタンを押して選択します。
Modeボタン を押すと撮影モードになり、 マークが画面に表示されます。
<図53>
後は通常通り撮影してください。

【ご注意】
カメラが自動フラッシュモードになっている場合、カメラの電源を切るまでそのモードが継続します。
電源が切れますとオフモードとなりますので、再度設定する必要があります。また、自動フラッシュモードでカメラが周囲が明るいと判断した場合には、フラッシュが発光しないことがあります。

17.カメラのメモリの初期化



<図54>

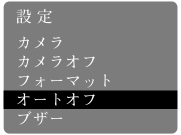


<図55>

カメラのメモリを初期化して（全画像を消去）メモリ容量を確保することができます。「設定（setup）」画面から「フォーマット（Format）」を選び、シャッターボタンを押します。<図54>
「フォーマット」画面の「はい（Yes）」を選びシャッターボタンで決定すると全画像と設定が全て消去されます。<図55>
【ご注意】
SDカード挿入時は本体メモリのフォーマットはできません。

18. カメラの設定を調整する

セットアップメニューを開く 撮影モードからModeボタンを2回押して「設定（Setup）」画面にします。▼▲ボタンで以下の何れかの設定を選択します。



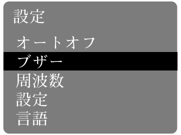
<図56>



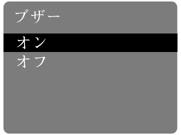
<図57>

オートオフ（AutoOff）時間の設定

オートオフ機能の設定時間を変更、または解除することができます。
「設定（Setup）」画面から「オートオフ（AutoOff）」を選びシャッターボタンを押します。<図56>
希望時間を選択し、シャッターボタンを押して決定します。<図57>



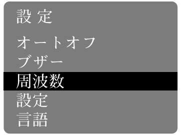
<図58>



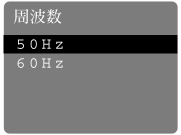
<図59>

ブザー解除（BuzzerOff）の設定

初期設定では操作ボタンを押すと音が鳴るように設定されていますが、これは解除することができます。
「設定（Setup）」画面から「ブザー（Buzzer）」を選び、シャッターボタンを押します。<図58>
「オン（On）」か「オフ（Off）」のいずれかを選択してシャッターボタンで決定します。<図59>
※操作音は非常に小さなものです。



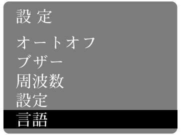
<図60>



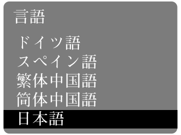
<図61>

周波数（Frequency）の調整

国や地域により異なる周波数の調整ができます。
「設定（Setup）」画面から「周波数（Frequency）」を選び、シャッターボタンを押してください。<図60>
「50Hz」か「60Hz」のいずれかを選び、シャッターボタンを押して決定します。<図61>



<図62>



<図63>

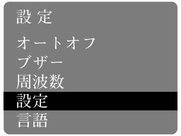
言語（Language）の変更

画面上の言語を変えることができます。

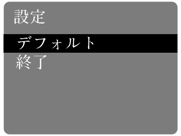
「設定（setup）」画面から「言語（Language）」を選びます。<図62>
英語、フランス語、トルコ語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、中国語(2)、日本語を選択することができます。<図63>
ご希望の言語を選んでシャッターボタンを押して決定します。

18.カメラの設定を調整する

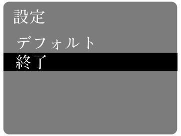
セットアップメニューを開く 撮影モードからModeボタンを2回押して「設定(Setup)」画面にします。▼▲ボタンで以下の何れかの設定を選択します。



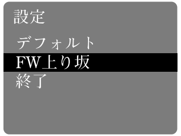
<図64>



<図65>



<図66>



<図67>

設定(Settings)

→初期設定に戻す/デフォルト(Default)
カメラの設定を初期設定に戻したい場合には、「設定(setup)」画面から「設定(Settings)」を選び、シャッターボタンを押します。<図64>
次に「デフォルト(Default)」を選択してシャッターボタンを押すと初期設定に戻ります。<図65>

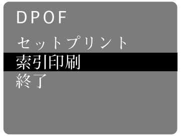
→前画面に戻る/終了(Exit)
「設定(Settings)」画面の「終了(Exit)」を選択すると前画面に戻ります。<図66>
→SDカード挿入時の表示
SDカード挿入時に「設定(setup)」画面から「設定(Settings)」を選ぶと、「デフォルト(Default)」と「終了(Exit)」の間に「FW上り坂(FW Upgrade)」という項目が現れます。<図67>
これは機能設定に使用しない項目です。



<図68>



<図69>



<図70>

DPOFに関して

パソコンを介さずにDPOFモード搭載のプリンタ(※1)でダイレクトにプリントすることができます。

※1:DPOFモード搭載のプリンタ」のメーカーおよび機種によっては使用できない場合があります。
※2:SDカードのみ対応(SDカードが挿入されていない、カード内にデータが無い場合は表示されません)

「設定(setup)」画面から「DPOF」を選び、シャッターボタンを押します。
<図68>
セットプリント→希望する画面を選択してプリント
<図69>
インデックス→サムネイルをプリント
<図70>

仕　様

カメラ有効画素数		500万画素
撮像素子		3.2メガ CMOSセンサー
記録画素数	スチル	2048 x 1536 ピクセル (3.2 MP) 2560 x 1920 ピクセル (5.0 MP 画像補間)
	ビデオ	320 x 240 ピクセル
内蔵メモリ		32MB フラッシュメモリ
記録メディア		SDメモリーカード (4GBまで対応)
撮影可能枚数 (内蔵メモリ使用時)		超高画質：約20枚　高画質：約30枚　低画質：約50枚 ビデオ：1クリップ60秒
ビューファインダー		ガリレオタイプ光学ファインダー
液晶モニター		1.5インチTFTカラーモニター
フラッシュ		MINOX クラシックカメラフラッシュ (オプション)
レンズ構成		Minoctar デジタルレンズ、4枚構成IRフィルタ付ガラスレンズ
焦点距離		8.7mm (35mm換算で42mm相当)
絞り値		F3.0
デジタルズーム		4倍

焦点深度範囲	0.5m, 1m～∞
ホワイトバランス	自動、デーライト、曇り、室内、タングステン、夜
シャッタースピード	自動
セルフタイマー	10秒
電源	充電式リチウムイオンバッテリー
自動電源off	オフモード (60秒、120秒、180秒選択可)
画像ファイル形式	スチル：JPEG　ビデオ：AVI
パソコン接続	USBケーブル
本体サイズ／重量	W74mm × D44mm × H47mm ／約110g

推奨システム環境

OS	Windows 2000/XP　Mac OS 9/OS X
CPU	Pentium Processor 350Mhz以上
メモリ	64MB以上
VRAM	2MB (16ビットカラー表示)
USB	USBポート
CDドライブ	4倍速

製品の修理・お問い合わせは…

お買い上げいただいた製品の点検や故障の際の修理につきましては、
お買い上げの販売店、または、下記までお問い合わせください。

MINOX Digital Camera Support Center
ミノックス・デジタルカメラサポートセンター **TEL. 03-3655-2933**

KOMAMURA CORPORATION

MINOX 日本総代理店
株式会社駒村商会
〒 103-0013
東京都中央区日本橋人形町 3-2-4 駒村ビル
TEL.03-3639-3351 FAX.03-3808-0116

●この取扱説明書は2010年4月現在のものです。

●この取扱説明書に記載の製品に関する外観・仕様などは予告無しに変更する場合があります。

www.komamura.co.jp